

# Q・I・L

京都府立

## 加悦谷高等学校

【編集・発行】PTA広報委員会 平成24年12月





## PTA 会員より

### 「無題」 一会員

早いもので自分も長男が高校生で、さらに次男も来年から高校生？となる年頃になってしまった。一緒に暮らしていると、どうしても「当時の」自分と、「今の」子供達を比べてイロイロ文句・小言を言うてしまうのだがさて自分が我が子達と同年代の頃と比べて何が違うのか考えてみた。

まず第一に、私は「親離れ」(親の立場では「子離れ」)は早くそれが良かったと思われる。当時、私は寮生活をしており、今のように親と同居せずほぼ同じ年頃の仲間たちと共同生活をしながら毎日、教室とクラブと寮を往復するだけの単調な生活だったのかな……と思ったが、やはり親と同居してなかった……というのは大きな環境の違いだったと思う。

高校生(中学生からがスタートだと思うが)くらいになると、一人前に「自我」が芽生え、いちいち小言を言う「親」という存在がとて「うっ」といふ存在となり会話が少なくなったり、小さなことが気に触り、衝突があったり……と子供も(親も)大変である。

その点、早くから親元を離れると「あんなにウザかった親」のアリガタミが結構早くに身に沁みて判るものである。ただ、それに慣れてしまうと学費や寮費を払ってもらってるにも関わらず「自分ひとりで生きている」と「勘違い」をしたのも事実であるが……

しかし、結局のところ「親」と一緒だと高校生になってもどこか「甘え」が出てしまい頼りにしてしまう……でも、小言を言われるのはウザイ……という自分勝手な(または都合の良い)解釈で過ごす事になっている。今の子は下手をすると「親」はいなくても「携帯」があればいい……なんて思ってるんじゃないのかな？

第2にこの時期に「クラブ」や「勉強」、または「趣味」、「バイト」なり、何か一生懸命、夢中に取り組んできたという自負が絶対に将来「プラス」になると思う。(パチンコに夢中になりすぎて学校を去ったものもいたっけ?)精神的にも体力的にも人生で最も「果敢な時期」を中途半端に過ごしてしまうと幾つになっても「中途半端」な癖が抜けなくなって、「おいおい……」と思われる大人も意外に多い。だから我が子にも何でもいから「一つ」でいいから打ち込めるものがあればなあ……としみじみ感じる今日この頃……で、気が付いたら結局「ゲーム」「ゲーム」ってなってしまうんだよな……

「ゲーム」で食っていく！くらいのバイタリティがあれば別であるが……

「少年よ！お金はなくても大志を抱け！無いものねだりでなくて知恵を出せ！」

「経年」でなく「経験」を積んで自分で満足できる人生を歩んで下さい。

### 「今、親として出来ること」 一会員

私は今年の春からPTA役員をさせて頂いていますが、初めは役員になった事をとて後悔していました。安易に受けてしまったと……(自分よりも他に適任の方がいるはずだと。)

でも決まった事は取り消されない!!前に進むしか無いと思い、役員会・PTA連合会の総会・指導者研修会等に出席させて頂いたり、体育祭では一日観戦をしながらジュースの販売もさせて頂きました。

私は正直、役員とは無縁のような気持ちでいましたが、今回、役員を経験して、向き・不向きはあると思いますが、行事に参加する中で多くのことを学ぶことができ、自分なりに精一杯やるのが大切なんだ！と実感しました。

また、先日の指導者研修会で、「家庭教育とPTA活動とのかかわり」の分科会の意見のまとめとして担当の先生が、子供達には家庭で親子のコミュニケーション会話が大切で、「親が態度で示す姿を見て、学び、社会へ出て行くものです。」と言われました。本当にその通りだと思います。学校で学び、家庭で学び社会に出て行く力をつけるんだ。と

今、私が親として出来る事は、毎日の食事を心を込めて作り、家事を頑張り、やがて社会へ出て行く子供との時間を大切に子供と話し合い、希望する進路が決まるように応援することだと思います。子供には、失敗を恐れずチャレンジしてほしいです。

### 「息子へ」 一会員

息子もはや高校2年生。毎日クラブに明け暮れる日々が続いている。私としてはクラブで汗を流すのは大歓迎である。勉強が疎かにならないか心配ではあるが、クラブをしていなくてもその時間が勉強に生かされるとも限らない。それならば、クラブを通して授業では学べない先輩、後輩との上下関係を学んでほしい。先輩から可愛がられ、後輩には慕われるそういう人間になってほしいと願う。

私は普段から人から物事を頼まれたら、出来る事であれば受けさせてもらおうと思っている。それは、人から頼まれるという事が、信頼の上に成り立っていると思うからである。「あの人に頼んでみよう」と、言って頂ける事が、あの人に頼めば大丈夫と思っ頂いている証だと思うからである。だから息子にも何でも良い、人から頼まれる人間になってほしい。そういう信頼関係を構築する意味でもクラブは大変大きな役割を担ってくれると思う。

息子が将来どのような道へ進んでいくのか、どんな人間になるのか、大きな期待をしつつ、しかし押し付ける事無く見守っていこうと思う。

今後も文武両道で頑張り。そういう息子を私は応援している。

## 2学期のPTA行事

### 第2回きもの着付け教室

10月24日(水)に第2回きもの着付け教室を実施しました。今回は小紋と名古屋帯の着付けを長島美代乃先生と藤田美千代先生に教わりました。生徒は在校生、教育実習生、先生方合わせて10名と少ない人数でありましたが、その分一人ひとりが丁寧に指導を受けることができました。よって全員集合の写真撮影はすでに真っ暗な時間帯になってしまいました。



第3回の着付け教室は3年生を対象に2月24日(日)振り袖を予定しています。是非ともたくさんの方々の御参加を期待しています。

### 体育祭バザー

夏の余韻が残る9月8日(土)に体育祭が実施されました。PTAとしてどのようなサポートができるのか。ねらいや取組内容を協議し「ジュース販売」に臨みました。日程から考え大変暑い中での販売になるのではと思っていましたが、当日は雲が垂れ込み雨を心配しなければならない状況で、ジュース販売を心配するより、なんとか最後まで無事に体育祭が実施できることを祈る思いでした。

私の記憶に残っている体育祭は、夕闇の中でファイヤーストームを囲み、その周りでフォークダンスをしたことぐらいです。当時は、色々な思いを込めて取組の準備や練習をしたに違いありませんが、記憶にとどめるのは難しいことになってしまいました。私は子どもが二人いますが、その子どもが高校に入り毎年行われてきた体育祭を一度も見に行ったことはありませんでした。今回、体育祭に関わらせていただきびっくりしたことは、たくさんの親御さんたちが応援に駆け付けていらっしゃるといったことです。保育所のころ「普段



なかなかお子さんたちと触れ合う時間がもてない方も多くいらっしゃると思いますが、今日は共に走り、共に笑い、共に語り、心の汗を一緒に流してみてください。」といわれたことを思い出します。現在、成長するに従い子どもと一緒にといった時間や場所を共有することが少なくなってきたことや、親同士のつながりも薄れていく傾向にあるような気がします。しかし、今回体育祭に関わることで少々オーバーかもしれませんが、子ども達(生徒達)の溢れんばかりの熱気と笑顔は平和の象徴であり、未来に託す我々の命だと強く感じることができました。また、PTA役員の皆さんの献身的なかわりや親同士のつながりを強く感じることができ、私自身を振り返る良い機会となりました。

### 染色教室

今年で19回目を迎える染色教室ですが、与謝野町染色センターの増田通正さんの指導のもと7月9日、10日の二日間にわたり、4ブロック、クラブ員そしてPTA役員が参加し、過去最高の609枚のTシャツを染色しました。





## 交通安全街頭指導

今年は、4月に亀岡市で登校中児童らの交通死亡事故が発生、また、京都府では交通死亡事故多発非常事態宣言が行われるなど、交通安全に対する考え方が問われる年となりました。そのような中ではありましたが、9月21日から交通安全街頭指導にPTA役員として参加しました。

日頃、通勤時間の関係で、高校生の通学風景を目にすることが少ない保護者の一人ですが、通学路に立っていると、はにかんだ表情で「おはようございます」とあいさつしてくる生徒、急ぐわけでもなくマイペースで自転車に乗ってくる生徒等、高校生のいろいろな表情を見ることができました。

また、自分が高校生だった30数年前と比べると通学圏も広がり、鉄道・バス・自転車を使って、様々な地域から通学してくる生徒たちを見ていると、時の流れを感じ、何か感慨深くなりました。

高校生に限らず、小中学生も、朝の登校はもちろん、一人になることが多い帰宅時の安全につい



ても、生徒一人ひとりが注意すると同時に、保護者や地域住民による注意や指導が大切になると感じています。

子供たちが安全に通学できる環境を確保できるよう、保護者の皆さんもPTAとともに考えてみましょう。

## 京都府立学校PTA指導者研修会 (両丹ブロック)



今年度も京都府立学校PTA研修会が11月10日(土)にアミティ丹後で開催され、本校PTAからも本部役員らで参加させて戴きました。

この研修会の趣旨は、家庭・学校・地域社会の連携で、「安心」・「安全」な社会を築き、心豊かな青少年の育成を！～「生きる力」・「人を思いやる心」・「心の教育」を家庭から～というテーマでの開催でした。

午前中は、長谷川 達氏(京都府立丹後郷土資料館副主査)の「古代丹後(丹波)の盛衰」をテーマにご講演戴きました。

昼食の間には網野高校の吹奏楽部による海をテーマとした演奏、茶道部による呈茶の振舞いをいただき楽しい一時を過ごしました。

午後の部は、三つの分科会に別れ、私は第1分科会「家庭教育とPTA活動とのかかわり」に参加し宮津高校PTAの発表のあと、各高校独特性を活かした活動や取り組み、家庭教育で大切なのは、話しやすいその場の雰囲気・家族同士の会話が大切だと痛感し、大変充実した交流が出来、良かったと思います。各御家庭でも、本校PTAのスローガンでもある「心で語らう家族の「わ」を基に親子で会話をされてはいかがでしょうか？

## 京都府教育委員会 学力向上フロンティア校の取り組み

今年度、加悦谷高校は京都府教育委員会が主催する学力向上フロンティア事業に府立高校46校の中からの17校に選ばれました。響け！加悦谷シンフォニー“地域の共生”～加悦高チャレンジ～をキャッチフレーズに「質の高い学力」を身につけるため、様々な取組を行っています。

### チャレンジ1

“生徒の自己振り返り”をテーマに独自の「自己振り返りシート」に、各定期考査の1週間前から毎日家庭学習時間調査を行い、自分の学習姿勢について振り返ります。担任が毎日確認し、生徒のやる気が出るようなアドバイスに活用しています。生徒たちは「休日は必ず6時間以上勉強する！」、「全科目の平均80点以上をとる！」などの具体的数値目標を記入しており、決意を新たに学習に取り組む姿勢がうかがえています。

### チャレンジ2

“教師の指導力向上と生徒の学力向上”をテーマに以下の取組を実施しています。

#### ・「読書週間」

6月と11月に1週間、朝の15分間を使い、生徒が思い思いの本を読みます。15分間集中して読書を行い様々な興味関心や知的探究心を養います。

#### ・「教科ニュースの発行」

毎月、一教科ずつ発行し、教科に関する最近の話題やクイズなどバラエティに富んだ内容となっています。

#### ・「英語リーディングコンテスト」

英語を通じて、異文化理解を深め、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成します。1年生対象に、キング牧師の「I Have a Dream」またはスティーブ・ジョブズ氏の「Stay hungry, stay foolish」のどちらかをリーディングします。各講座で予選を行い、本戦を1月に行う予定です。

#### ・「漢字コンテスト」

全校生徒が、加悦谷高校の一年間を振り返り、様々な出来事や行事の中から象徴される漢字「一字」の提案と説明文を作成します。応募された漢

字から候補作を選定し、全校生徒による投票により「今年の漢字」を決定します。2学期の終業式では書道部による「今年の漢字」パフォーマンスを行う予定です。

### チャレンジ3

“地域と連携し、意欲・広い学力の向上”をテーマに以下の取組を実施しています。

#### ・「第1回平成Buson俳句大賞への参加」

1・2年生全員に俳句の授業を行い、与謝野町が開催する第1回平成Buson俳句大賞に応募しました。1148句の中から、本校2名の生徒が入選しました。

#### ・「アベリスツイスとの国際交流」

6月に与謝野町・アベリスツイス友好協会会長糸井定次氏による講演とマザーグースの会による紙芝居「エイエンノハイワ」を上演しました。太平洋戦争時における大江山捕虜収容所の歴史と与謝野町がイギリス・アベリスツイスと友好都市となった経緯を学び、「平和の尊さ」「郷土への愛」という大きなテーマに向け、一歩、成長できました。また、ESSクラブがアベリスツイスの高校生と手紙のやり取りを行い学校祭で展示発表しました。

また、与謝野町イギリス・アベリスツイス高校生派遣事業において、本校から4名の生徒が11月3日から12日間イギリスへ派遣されました。ホームステイを通じて、イギリス・ウェールズの文化や語学を学ぶことができました。

#### ・「KYTとコラボ」

生徒会と与謝野町有線テレビ(KYT)とのコラボ企画として「加悦谷高校クラブ紹介」などの番組を制作しました。生徒がインタビューするなど番組制作に関わることで地域社会と連携することができました。

#### ・「地域ボランティアへの参加」

加悦谷高校、江陽中学校、加悦中学校の3校合同で普段使用している与謝野町サイクリングロードの清掃を企画しました。当日は雨で中止となりましたが、3校合同で地域社会貢献を考えたことは大きな意義がありました。



1年1組  
「ソーラン節」



1年3組  
「ずきん戦隊〜7色レンジャー」



1年4組  
「桃太郎〜Another Story〜」



1年2組  
「浦島太郎の都市伝説」



3年1組  
「crazy for you」



# 第64回 学校祭

## 加悦谷五輪〜only one summer〜 The 加悦谷 movie 〜本邦初公開〜

9月5日(水)〜7日(金)の3日間にわたり加悦高文化祭を開催しました。

演劇発表では7クラスが熱演を行い、

ダンス発表では5クラスが力のこもった発表を行いました。

また、展示の部では書道部、美術部、ESS部が  
それぞれの日頃の活動内容を展示しました。

3年2組  
「テープで固定して、半分に折るの」



2年1組  
「GTK21」



2年2組  
「幽霊退治、承ります」



2年3組  
「HERO meet NEET」



2年4組  
「Summer Cute 2012」



3年3組  
「火曜日の約束」



3年4組  
「Sarakitty]s〜DANCE〜(うー!にゃー)」







👍 1ブロック 🕊️



👍 2ブロック 🕊️



熱戦! 熱いぜ!! **体育祭** 熱中! 燃えたぜ!!



👍 3ブロック 🕊️



👍 4ブロック 🕊️



編集後記

P T A 役員を引き受けてから、あっという間に8か月が経過しようとしている。数回のP T A 研修会などで色々な方の経験や悩み、取り組み内容などお聞きしました。役員だけでなく大勢の方に聞いていただきたいと思う話もあり、いい経験をさせて頂いたと思っています。いよいよP T A もラストスパートとなり、次期役員の選考が待っています。気持ちよくバトンタッチができることを願っています。